

いこま

近畿大学奈良病院 広報誌

ご自由にお取り下さい。

2019年 9月発行 Vol.16

近畿大学奈良病院が20周年を迎えるにあたって

当院は1999年10月1日に開院してから、おかげさまで20周年を迎えることになりました。開院当初はひとつの一般病棟に全科が入院し、各科とも医師数が不足の中、学会参加もままならない多忙な状況でした。職員一丸となって診療に取りくんだ頃が懐かしく思い出されます。救急隊に「最後の奈良県の砦です」と嘆願され、南和地区の救急患者を救急救命センターに受け入れたこともありました。新卒のメディカルスタッフが多数従事していた現場は、その教育も重要で、各職員が熱意をもって病院の立ち上げに協力し診療に貢献することで、スタッフの充実に至り、地域での信頼を皆様から得ることができました。

振り返ってこれからの20年はどうなるでしょうか。出生率、労働人口の減少、超高齢者の比率増加により、健康保険の経済基盤の不安定化、病院受診率の低下を見据えた国の医療政策へ転換が図られます。地域医療構想は行政主導で西暦2040年の老年人口減少時代にマッチした医療構造に変革し、在宅医療にシフトしていこうという動きです。このような令和時代のパラダイムシフトの中でも高度専門医療を継続して提供し、引き続き for the patient に徹し、皆様からの信頼を失わないような病院でありたいと考えております。これまで同様、新たな医療技術の習得・実践に努力するとともに、働き方改革推進も求められる中、より効率性の高い医療を、と考えます。「やまと西和ネット」に代表されるITを用いた医療も念頭に、今後とも皆様からのご支援をよろしくお願い申し上げます。（文責：病院長 城谷 学）

現在

開院当時

CONTENTS

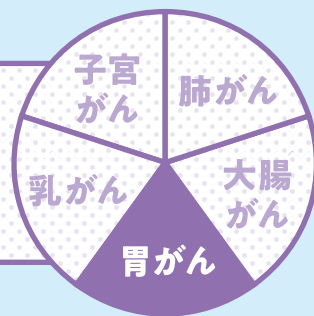
- p1 近畿大学奈良病院が20周年を迎えるにあたって
- p2 シリーズ 5大がんを考える「vol.3 胃がん」

- p3 健康ひろば「白内障について」
- p4 部署紹介「整形外科・リウマチ科」
- p5 最新医療紹介「がんのゲノム医療」が始まりました！

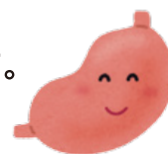
- p6 3D(小児科)病棟のホスピタルアート
- p7 栄養だより・薬剤コラム
- p8 いこまだより「防災センターのご紹介」・第5回フォトコンテストのご案内・編集後記

「シリーズ 5大がんを考える」

vol.3 胃がんについて



このページでは日本の5大がん
(肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、子宮がん)を順に考えます。
第三回目は胃がんについて、ご紹介します。



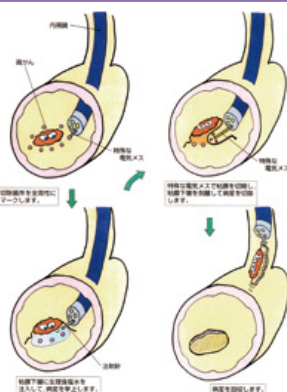
かつて胃がんはがんの死亡症例数ランキングでは1位でありましたが、最新のデータでは男性が2位、女性は3位と胃がんの発生率は徐々に低下するとともに、治療成績も向上してきております。しかしまだまだ多い病気ですが、発生原因は解明されていませんので残念ですが予防方法はありません。ただし、胃がん発生のリスクファクターはヘリコバクターピロリ菌、過度の塩分摂取、飲酒、喫煙などがあげられますので、生活習慣や食生活に気をつけましょう。

胃がんの治療法は切除療法か化学療法(免疫療法も含める)のどちらかです。切除療法の中でも粘膜内がんは内視鏡的切除が出来るケースがあり、胃の働きは温存できます。それ以外で完全に切除できる場合は、がんの発生した場所により幽門側胃切除術、あるいは胃全摘術が定型手術になります。最近では腹腔鏡下胃切除術も導入し、手術後の身体への負担軽減に効果を発揮しています。胃以外の臓器や腹膜などに転移している場合は化学療法を行います。最近では制がん剤の開発が進み治療成績はどんどん良くなっております。

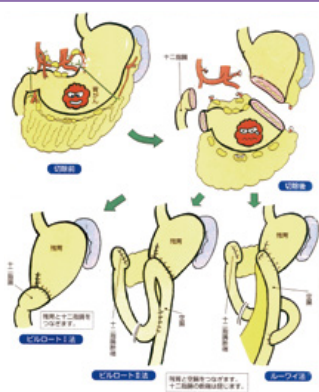
いずれにしてもほかのがんと同様に、胃がんも早期発見・早期治療が最も重要ですが、胃がん特有の症状というものはありませんので、心窩部の違和感や食欲不振などの自覚症状がある場合はすぐに消化器内科など専門医を受診しましょう。また40歳を過ぎると胃の定期検診を受けることも必要です。

(文責:消化器外科 井上 雅智)

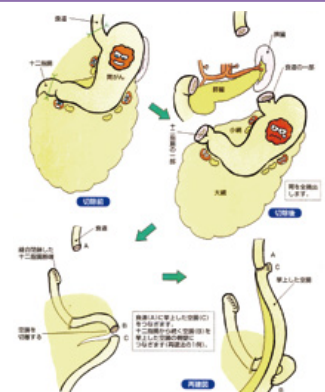
内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)



D2切除(定型手術)-(A) 幽門側胃切除術



D2切除(定型手術)-(C) 胃全摘出の1例



Health Park

健康ひろば

白内障

～ 白内障はこわくない ～

眼科：福田 昌彦

令和元年7月1日より近畿大学奈良病院眼科に赴任してまいりました福田昌彦です。この生駒の地での眼科診療で少しでもお役に立ちたいと考えておりますのでどうかよろしくお願いいたします。私は昭和58年近畿大学医学部を卒業し、眼科医師となつてから35年以上大阪狭山の近畿大学病院で勤務してまいりました。今回取り上げます眼科疾患は白内障です。



白内障とは？

目の中にある水晶体が白く濁って視力が低下する病気です。加齢によるものが大部分ですが、ステロイド薬や放射線により発症する場合があります。水晶体はカメラのレンズの働きをする組織です。通常は透明ですが白内障では白く濁ってしまうため以下のような症状が出ます。



・視界が全体にかすむ ・視力が低下する ・光をまぶしく感じる



▲治療前の白内障

白内障の治療について

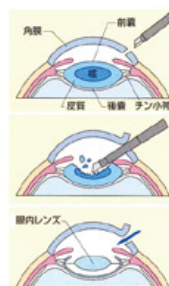
生活に支障のない初期の場合

ピノレキシン製剤やグルタチオン製剤による点眼治療を行います。点眼で水晶体の混濁が改善するわけではなく、進行防止が目的です。

生活に支障がでてきた場合

手術(超音波水晶体乳化吸引術+眼内レンズ挿入術)を行います。黒目(角膜)の端から小さい切れ目を入れて濁った水晶体を超音波で碎いて吸い出します。そしてピント合わせのために眼内レンズを入れます。近年では遠近両方が見える多焦点眼内レンズ(保険適応外)も開発されています。手術は通常局所麻酔、15分程度で終了します。翌日にはある程度視力が回復し、1～2週間で良好な視力が得られます。こんなによく見えるならもっと早くに手術しておけばよかったと言われる方が多いです。

超音波水晶体乳化吸引術



眼球を切開し、水晶体の前嚢を切り取る。

水晶体の核と皮質を超音波で碎き、吸引して取り出す。後嚢とチン小帯は残す。

残った後嚢の中に、眼内レンズを挿入する。

近畿大学奈良病院での手術

日帰り手術、1～2泊の入院等いろいろご希望に合わせて選択できるようになっています。手術前に検査と説明のため1,2回通院いただいてから手術となります。大学病院で白内障手術をうける利点は「安全・安心」です。全科のドクターがそろっていますので急な体調変化にも対応できます。特に持病のある方、ご高齢の方、心配性の方は近畿大学奈良病院眼科におまかせください。

部署紹介

整形外科・リウマチ科

『患者様に優しい整形外科診療』を提供

2019年4月に当院整形外科・リウマチ科の診療科長として着任し、約4カ月が経過いたしました。出身は神奈川県ですが、大学は山形大学、大学院は横浜市立大学、留学はアメリカ・オハイオ州クリーブランド、帰国後は函館中央病院脊椎センター、そして今年3月までは静岡県の浜松医科大学と、ほぼ6,7年毎に異動しながら、様々な地域で、専門である脊椎（せぼね）診療に従事してきました。これまでの様々な経験を生かして、近畿大学奈良病院で患者様に優しい診療を心がけて行ってまいります。せぼねの病気は年齢を問わず、幼年期から高年期までにおこりますが、とくに高齢者に多く発生します。一人でも多くの患者様の愁訴が改善するように、前向きに積極的に診療をします。



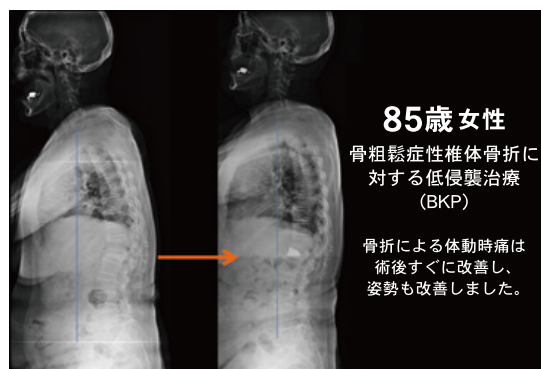
当科には6名の整形外科医がいます。それぞれ専門分野を持ち、脊椎脊髄疾患、膝関節や股関節などの関節疾患、関節リウマチ、骨粗鬆症、そして外傷とほとんどの整形外科疾患をカバーできるように日々努力しています。本大学病院のような総合病院では、いろいろな併存症をもった患者様の診療に対応できるよう、そして西和地区整形外科診療の中核を担うべく、またそれにふさわしい施設となるよう日々鍛錬しています。

当院スタッフには『優しい医療』を提供するように指導しています。痛みや障害を抱え、病んだ身体を診てもらうために病院を受診するのですから、つらい気持ちや苦しみを抱えて患者様たちは病院を受診します。そういう患者様たちに『受診してよかった』、『受診したら安心できた』、そんなふうに思ってもらえる診療科を目指しています。自分が病気やケガをしたときには是非診てもらいたいと思うような、選ばれる医師、選ばれる診療科でありたいと考えています。皆様、何卒宜しくお願いいたします。

（文責：整形外科・リウマチ科 准教授 戸川 大輔）



2019年度 整形外科・リウマチ科 スタッフ
（左から、鳥海賢介、森成志、森竹章公、戸川大輔、神谷正人、山崎頭二）



教えて! 最新医療紹介

近畿大学奈良病院で 「がんのゲノム医療」が始まりました!

腫瘍内科 高濱 隆幸

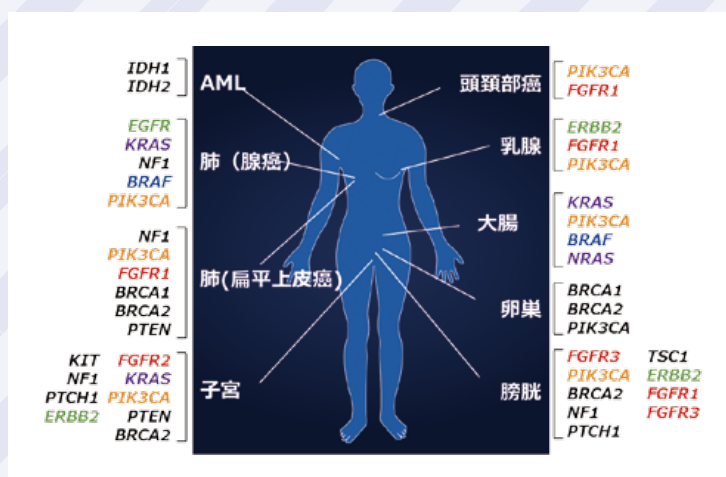
近畿大学奈良病院は、2019年4月に「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けました。これで、待望の「がんのゲノム医療」を当院でも実施出来るようになりました。

でも、「がんのゲノム医療」って何でしょう? まずは、がんの原因となる「遺伝子の変化」を検査します。この検査結果をもとに、抗がん剤治療や遺伝子検査の専門家たちが集まり、患者さんごとに異なる「最適な治療方針」を話し合います。このように、「あなただけ(オーダーメイド)の治療方針」を提案することが可能となります。

「遺伝子を調べる」、と聞くと「家族にも病気が遺伝してしまうのではないかと」、不安を感じる方が多いと思います。近畿大学では、全国に先駆けてがんのゲノム医療を実践してきた経験がありますので、検査の前に丁寧に説明を致します。また、必要に応じて臨床遺伝専門医や遺伝カウンセラーの先生方のサポートを受けることもできますので安心して下さいね。

実際に遺伝子検査の結果に基づいて治療方針を決定できる人の割合は10%前後であることも事実ですので、過度に期待することは出来ないのですが、「まず検査を受けてみる」ことから始まります。

抗がん剤治療を受けていらっしゃる多くの患者さんが「がんのゲノム医療」を受ける対象であると思われます。少しでも興味がある患者様や先生方がおられましたら、主治医の先生、腫瘍内科、またはがん相談支援センターまでお気軽にお問合せ下さい。



(図) 腫瘍における遺伝子異常と分子標的治療

3D(小児科)病棟の ホスピタルアート

近畿大学文芸学部文化デザイン学科森口ゆたか教授の前期ゼミの成果として、当院3階小児病棟処置室が緑ゆたかな森に変身しました。大人でも恐怖を覚えるような侵襲を伴う処置を受けなくてはならない子供たちの痛みが、少しでもやわらぐ様にと、病院現場の意見を慎重に聞きながら推敲を重ねた3案それぞれの優れたパートを取り入れた折衷案が採用されました。処置ベッドへ誘導する鹿の足あとを模したフロアサインや、隠し絵のハート探し、動物マグネット遊びなど意匠を凝らした設えに子供たちからもスタッフからも歓声があがりました。

後期ゼミは、病院スタッフから処置室の次に改善要望が多かった、お向かいどうして判り難い小児病棟と産婦人科病棟の経路誘導サインについて考察する予定です。清潔で安全で頼りになるだけでない、楽しく心安らぐ療養環境という付加価値を体現する、森口ゼミによるホスピタルアートの取り組みに是非ご注目ください！



参加学生の方にインタビューしてみました！



私たちは、産学連携プロジェクトとしてフィルム会社と連携し、ホスピタルアートに取り組みました。授業ではホスピタルアートの歴史を振り返り、事例を学びました。

また、フィルム会社の方からたくさんの院内装飾実施の事例を紹介され、様々なプロセスを踏みながら壁紙作成を行いました。まず、ある程度イメージを固めるためにグループ内で出た意見を取捨選択しながらムードボードを作成し、そしてデザイナーに分かり易く伝えるために原画を作成しました。

装飾後のアンケートで、侵襲を伴う処置を怖がって泣き出す子は多数いるものの、処置室に入るのをとまどう子は以前と比べて減っていたので安心しました。ただ、院内装飾を施したからといって子供たちみんなが怖がらないのではなく、院内装飾に関係なく処置室に入るのを怖がる子もいるという現実を感じました。

このゼミを通じて、森口ゆたか教授からプロデュースをするとはどういうことなのかを学び、ホスピタルアート以外にもプロジェクトを進める上で重要な力が身に付きました。ビジネスの基本を知れたり、病院スタッフの前でプレゼンテーションができたなど他の授業ではなかなか経験できないことが経験でき、貴重な授業だったと感じています。



参加学生
岡田 海渡さん

栄養だより

なるほど納得!?
～料理に使う油脂のポイント～

油には、サラダ油・オリーブオイル・ごま油・えごま油・バターなど種類が沢山あります。それぞれの種類や違いを知り、ご自身の症状や用途に合った油を選ぶようにしましょう。

分類	多く含まれる食品	はたらき
飽和脂肪酸	牛脂 ラード バター など	多く摂りすぎると悪玉(LDL)コレステロールが増加します
n-9系多価不飽和脂肪酸	オリーブ油 キャノーラ油 など	悪玉(LDL)コレステロールを下げる作用があります。調理時に使うことをオススメします！
n-6系多価不飽和脂肪酸	大豆油 ごま油 ひまわり油 など	悪玉(LDL)コレステロールを下げる作用がありますが、摂りすぎると善玉(HDL)コレステロールも下がってしまいます。
n-3系多価不飽和脂肪酸	しそ油 えごま油 あまに油 魚油 など	トリグリセライド(TG)を下げる作用があります。



これらは非常に酸化しやすい油です。加熱せずにそのまま料理やサラダにかけて摂取するのがオススメです。

どの油脂でも高カロリー
1g=9kcal
なので、使い過ぎには注意しましょう。



(文責:栄養部 葉本 昌代)

薬剤コラム

薬の基礎知識

- お薬手帳 -



皆さんは「お薬手帳」をお持ちでしょうか？ご自身の服用しているお薬を管理できるだけでなく、健康面や経済面にも関わるお薬手帳の大切さについて今回はお話しします。

お薬手帳とは

いつ・どここの医療機関で・どのような種類のお薬が処方されたのかを記録できる手帳のことです。複数の医療機関に罹っている場合も一冊にまとめてお薬の情報を管理することができます。



どんなメリットがあるの？

薬の重複処方やそれに伴う副作用を防止することができます

複数の医療機関に罹られている場合、患者さんの服用している全てのお薬を医師・薬剤師は把握することができません。お薬手帳は他の医療機関から処方されているお薬の情報を共有することができます。また、情報を共有することによってお薬の重複処方や過量投与による副作用を防ぐことができます。



薬局への持参で一部医療費が減額される場合があります

薬局でお薬を受け取る時には「薬剤服用歴管理指導料」という医療費が発生しています。ここで、お薬手帳を持参して頂くと指導料の一部が減額される場合があります。

※ただし6カ月以内に同じ薬局に行かなかった場合、別の薬局に行く場合、医療機関の門前薬局などでは対象外なので注意してください！



災害などの緊急時に適切な薬剤の選択が可能です

災害などの緊急時にもお薬は服用しなければなりません。お薬手帳があれば、「普段どんなお薬を飲んでいたら忘れてしまった」という不安を抱えることなく、スムーズにお薬の選択を行うことが可能となります。



最後に…

お薬手帳に身長・体重、血圧、アレルギーの有無、今までに起こった副作用、服用しているサプリメントや健康食品、検査の結果などをまとめて記録しておく、お薬を処方する際にこれらを考慮することができ、より適切なお薬が選択できます。また、旅行先や出張先などで急に必要となった時にもお薬手帳は活躍します。さらに、ご自身の疑問点などをメモしておく、お薬に対しての不安を取り除くことができます。お薬手帳は様々な場面で役に立つため、普段から持ち歩くことが大切です。最近は、お薬手帳の携帯アプリもあるので、気になった方は是非利用してみてくださいね！

(文責:泉本 秋帆)



防災センターのご紹介



雨の日も、風の日も、夏の暑い日も、毎日病院の入口で交通整理を行っていただいている防災センター隊員(株式会社オネスト)のみなさんに今回は取材してみました。

Q1 日頃心がけていることはありますか？

A1 あいさつを基本として、患者様に声をかけることです。また、いつも笑顔で接することを心がけています。あと、交通整理をするときは、身ぶり手ぶりを大きくし、わかりやすく誘導することです。



Q2 今まで、大変だったなあと思われたことはどんなことですか？

A2 病院の前の道路を横断する際は、横断歩道を利用させていただきよう患者様へ声かけをしますが、なかなか聞き入れていただかず、斜め横断をされる方がいらっしゃいます。しかし、先ほど申しましたように、声かけをする、笑顔で接するように心がけていることで、以前より聞き入れていただける患者様が増えていることを実感します。

その他にも、隊員のみなさんの業務は多岐にわたります。病院の巡回、病院内外での身体の不自由な患者様の補助、病院の各出入口の施錠、鍵の管理などなど、病院の安全を司る重要な裏方業務を担っていただいています。今後も病院の安全を守っていただきますようお願いいたします！！

(文責: 患者支援センター 亀田 啓介)

第5回 フォトコンテスト開催のご案内 PHOTO CONTEST

まもなく、第5回フォトコンテストの開催を予定しております。毎回力作揃いの応募をいただいておりますが、今回もたくさんの応募をお待ちしております。われこそは、と思われる写真家の皆様には、そろそろ写真撮影、写真選択をはじめさせていただきますようお願いいたします。応募に関する内容については、詳細が決定次第、当院ホームページ、院内掲示等でご案内させていただきます。



▲第4回フォトコンテスト 最優秀賞作品
「雲と近大」

編集後記

令和になって初めての記念すべき「いこま」を発刊いたしました。まだ「令和」という言葉に慣れていない感じですが、しばらくすると自然に馴染むことでしょう。ところでみなさんは「令和」の英訳をご存知でしょうか。「beautiful harmony＝美しい調和」と言うそうです。これからも美しく調和のとれた誌面作りに努力したいと思っておりますのでご声援よろしくお願い致します。

(担当: 広報委員長 家根 旦有)



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学奈良病院

〒630-0293 奈良県生駒市乙田町1248-1 TEL 0743-77-0880
E-mail: infonara@med.kindai.ac.jp https://www.kindainara.com

発行日 令和元年9月13日
発行場所 近畿大学奈良病院
編集 広報委員会